

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	家族会において、利用者や家族から個別に意見を聴く機会を設けたり、家族の面会時にも状況の説明を行い、サービスに反映させているが、さらに、積極的に家族と関わりを持ち、情報交換をしてサービスの向上に繋げる。	家族の面会時には、近況報告を行い、家族との繋がりを密にしていく。	家族の面会時には、必ず、近況報告を行う。	2ヶ月
2	2	地区で行われる「防災訓練」に参加したり、近くの小学校の運動会の見学に行ったり、ホームの秋祭りに地域のボランティアを招いたりして、地域との交流を図っているが、さらに、認知症を地域の方々にとって頂く研修会など、こちらから地域へ向けて発信できることを検討したい。	ホームから、地域へ向けて発信できることを検討し、実施する。	地域の方々に向けた、認知症ケアについての研修会を計画して実行する。	6ヶ月
3	33	『重度化した場合における対応に係る指針』を作成し、本人または家族に説明し同意を得ている。今後さらに、重度化へ備えての態勢作りを検討する。	重度化への対応ができる態勢作りを検討していく。	重度化した場合の対応についての研修を行い、職員間で知識を深めていく。また、重度化しつつある利用者については、カンファレンスの中で、具体的な支援方法を密に話し合っていく。医療機関とも連携を図る。	10ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。